

YAMANASHI

・発行/山梨県PTA協議会 会長 小林奈都夫 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目33-7 TEL.055-228-1342
 ・編集/山梨県PTA協議会情報委員会 ・印刷/総合印刷 王文社

大人の責任 PTAの役目



平成25年度
山梨県PTA協議会
会長 小林 奈都夫

「子どもたちを取り巻く環境は、年々悪化している」…いろいろな会合に行くときよく耳にする言葉ですが、大人がこの言葉を使うのは、あまり好ましくないと思っています。

なぜなら、そういう社会環境を作ってきたのは大人たちであり、その大人がだれかに責任転嫁しようとしているに過ぎなく、それが自分の責任だと誰も明言しないからです。

でも、保護者と教職員で構成するPTAは、他人の責任にしている余裕などありません。大人が子どもに与えた携帯電話やスマートフォンを介して、いじめや凶悪な事件が発生したり、山梨県だけでも800人もの不登校児童・生徒がいる。その現実から目を背ける訳にはなりません。自分たちの責任として、義務として、今の子どもたちの健やかな成長を願い、行動しなければなりません。

役員を務めた人たちだけのPTAでなく、会員お一人おひとりが、自分の子どもだけでなく、学校や地域の子どものにも目を向け、大人が一丸となって子どもを育てる。命を守る…それがPTAの役目だと思います。県PTAも自らその役割を見つめ直し、会員の皆様や各校PTA、郡市PTAに情報発信してまいります。

第1回 山梨県PTA大会

テーマは“子どもの命を守る”

日時 11月30日(土)午後1時～4時
会場 山梨県立文学館

★第1部 単位PTA活動の状況調査の報告
PTA活動実践発表 甲府市立玉諸小PTA

★第2部 パネルディスカッション
「子どもたちの生きる力を私たちはどうつけるか」
基調講話 小林 久氏(スーパーやまと社長・前県教育委員長)
パネリスト 小林 久氏・近藤周利氏(県教委社会教育課長)
軽部妙子氏(あんふぁんねっと代表)
コーディネーター 萩原智子(県PTA副会長)

【参加申込】各校PTA事務局または県PTA事務局へ

～心のきずな61キャンペーン～ ご協力ありがとうございました

震災遺児孤児への就学助成金支給を開始します

心のきずな61キャンペーンに対しましては山梨県内はもとより、全国のPTA会員の皆様をはじめ多くの方々のご理解ご協力をいただき、その支援金は3億5,000万円(9月現在)となりました。心から感謝申し上げます。

この浄財をもとに、日本PTA全国協議会では、東日本大震災により保護者を亡くされた、あるいは保護者が行方不明になられた児童生徒で、平成25年4月1日現在小学校1年生から中学校3年生に在籍する児童生徒の方に対し、就学助成金を支給いたします。

山梨県内に移住している被災者の中で対象となられる児童生徒がいる方は、すぐに、各校PTA事務局へ申請してください。

【問合せ】県PTA協議会事務局

富士山の世界文化遺産登録によせて

富士山の世界文化遺産登録を受けて、静岡・山梨両県PTA協議会では、全国の子どもたちやPTA会員にむけてメッセージを発信しました。

ユネスコの世界遺産委員会が、「富士山」を世界文化遺産として登録することを正式に決定しました。

私たちの故郷の山、日本の象徴である富士山が、世界の宝となったことは、静岡・山梨両県の子どもたち、保護者、教職員にとっても大きな喜びであり、誇りでもあります。

特に、ユネスコの諮問機関イコモスが、除外を勧告していた「三保松原」を含め登録されることになったことは、嬉しい驚きでしたが、このことは、子どもたちに対し、「しっかりと思いを伝えることの大切さ、何事もあきらめてはいけない」という信念を教えることができたと思います。

これまで、私たちはいつも富士山に見守られ、元気づけられてきました。これからは「人類の宝」という称号をいただいたのと引き替えに、この誇りと文化を守り、次代を担う子どもたちしっかりと引き継いでいかなければなりません。

今回の登録を機に、静岡・山梨両県のみならず、全国の子どもたちや保護者、教職員の皆様も、富士山から多くを学び、恩恵を受け、心の拠り所になることを期待しています。

平成25年6月22日

静岡県PTA連絡協議会
会長 澤西 一良
山梨県PTA協議会
会長 小林 奈都夫



facebook

フェイスブック始めました。

いいね！してください。

<日本PTA国際交流・研修事業参加者募集中>

全国の少年少女が交流により絆を深め、異文化・国際理解への視野を広める研修です。外国人との交流もあります。

期間：平成26年3月26日～29日 場所：茨城県つくば市内

対象：中学2年生各県男女各1名 参加費：5万円/1人

【問合せ】詳しい内容を知りたい方は、県PTA協議会へ。締め切り11月20日

平成25年6月15日(土) 山梨市民会館

県教育委員長 高野孫左エ門様をはじめと多くの来賓の方々を迎え開催されました。事業、決算の承認後、新役員と共に小林奈都夫会長が再任されました。活動方針、予算案可決後、赤岡前校長会会長に講話をして頂きました。

- 活動方針**
- 子どもたちの心豊かで健やかな成長を願い、親や家庭の果たすべき役割を支えるPTA活動を推進する。
 - 様々な災害や交通事故から子どもの命を守り、防犯・防災につながるPTA活動を推進する。
 - 会員相互の資質向上と結びつきを強め、新しい時代に即応できるPTA活動を推進する。
 - 学校・家庭・地域の役割を再認識し、互いの連携のもと各単位PTAを支援する運動を推進する。
 - 日本PTA・関ブロ・県・都市・単位PTA・教育諸団体と連携し、青少年の健全育成と教育条件整備を推進する。

- 具体的活動**
- 山梨県PTA協議会の運営(総会・理事会・諸会議及び委員会)
 - 教育相談・調査研究・情報収集事業
 - 家庭・学校・地域社会教育に関する研修会や講演会活動
 - PTA活動(社会教育)に関する表彰事業(県P総会及び県PTA大会時に表彰)
 - 家庭・学校・地域教育・安全教育に関する広報・安全啓発活動
 - 教育・行政・日本PTA等教育関係機関との連携政策提言事業



詳細は
ホームページを
ご覧下さい

総務委員長 雨宮俊彦(山梨小P)
山梨県PTA大会の運営に携わります。多くの保護者のみなさんが参加され、「良かった」と思える大会になります。PTAは、まず参加すること。皆さんの参加を心よりお待ちしております!

企画委員長 磯村賢一(牧丘第一小P)
各PTAにおいて、通学時の見守り活動、防災対策、特色だった取組みについて、ご協力いただきましたアンケートを基に、良い活動が出来きる様、頑張ってくださいと思いますので、ご協力をお願い申し上げます。

情報委員長 雨宮真司(玉宮小P)
「県P情報」の編集を通して、県Pの活動状況・意見などを発信しています。旬な情報・話題もタイムリに発信できるように、ホームページの充実、フェイスブックの公開なども検討中です。皆様のご意見・ご協力をお願いいたします。

母親委員長 反田友美(善誘館小P)
今年第1回山梨県PTA大会の開催にあたり、初めての試みなので母親委員長として、何が出来るのか不安ではありますが、持ち前の好奇心とやる気で常にわくわくした気持ちを持って精一杯頑張りたいと思います。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

安全審査運営委員長 小林明夫(市川小T)
本委員会では、PTA親子安全会と同扶助会の見舞金給付に関する審査運営及び認定委員会を、年間9回程度開催しています。児童・生徒をはじめとする会員の事故傷害等への見舞金給付が、公正公平に行われますよう、厳正な審査に努めています。

組織活動検討特別委員長 桂原慎治(竜王中P)
PTA会員ひとり一人が県PTA協議会に求めていることをリサーチし、今後の県PTA協議会の組織改革や提供する事業内容の見直し等について協議検討し、未来を担う子どもたちの健全育成及び県PTA協議会の発展に寄与できるよう委員一同、力を合わせてがんばります。

子どもたちの命を守る特別委員長 中村裕一(大月第一中P)
我々、子どもたちの命を守る特別委員会は、先の総会で承認された「事故や災害から子どもたちの命を守る取り組みを検討する」という諮問を受け、12月15日までに答申を行うことを主たる活動とする特別委員会です。現時点では、①「自分の命は自分で守りそして生き延びる」を主題とし②「防災教育。親子で学ぼう。防災についての正しい知識。家族で話し合っておこう、もしもの時のために」③「地域との連携。日頃から防災訓練などに参加して防災行動力を高めていこう」のthird streamで議論討論をしていきたいと考えています。

よろしく
おねがいします!

会長	小林奈都夫	副会長	甲府 波木井淳一	南アルプス 早川純一
親子安全会会長	柵 謙一	副会長	山梨 雨宮俊彦	峡南 大沢栄子
扶助会		副会長	山梨 伊藤 光	南都留 池谷欣寿
		副会長	大月 湯山知英	校長会 小林明夫
		副会長	全県 進邦徹夫	母親代表 萩原智子
常任理事	中巨東部 花田弘樹	副会長	甲州 雨宮真司	北杜 小林 寛
	吉田 舟久保信	副会長	北都留 和智浩二	都留 八巻浩人
		副会長	総務委員長 雨宮俊彦	情報委員長 雨宮真司
		副会長	企画委員長 磯村賢一	母親委員長 反田友美
		副会長	安全審査運営委員長・扶助会認定委員長	小林明夫
		副会長	組織・活動検討特別委員会 委員長	桂原慎治
		副会長	子どもたちの命を守る特別委員会 委員長	中村裕一
監事	三井久美子 植村武彦 石原初江			

※その他の理事役員はHPをご覧ください。

平成25年度 県P理事役員

甲府市立南西中 PTA に栄冠!! 山梨県PTA協議会 広報紙コンクール 5月18日 かいてらす

審査の結果、つぎのPTA広報紙が選ばれました。受賞校は県P大会にて表彰いたします。

最優秀賞 甲府市立南西中学校PTA 「いちよう」

広報紙「いちよう」はPTA会長と校長先生との対談、PTA会員執筆のエッセイを載せた一面企画や、防災をテーマにしたシリーズ企画、写真の使い方や工夫したレイアウトなど、読み応えがあり、見やすい紙面が評価されました。(審査委員長：山梨日日新聞社 読者センター長 小宮山良一 評)

- 優秀賞：甲州市立塩山北小学校PTA 「北辰」
- 優秀賞：甲府市立西中学校PTA 「青雲」
- 奨励賞：北杜市立高根清里小学校PTA 「きよさと」
- 奨励賞：北杜市立高根東小学校PTA 「のぞみ」
- 奨励賞：甲府市立大里小学校PTA 「青桐」



最優秀賞に輝いた甲府市立南西中学校PTA 「いちよう」

各都市Pからの活動報告



甲府地区 波木井 淳一 (笛南中P)

25年度、我々は「子どもたちに未来を与え、そのためにみんながつながりを持って」をメインテーマに、各種の意見の交換会、情報交換会、我々の行動を幅広く周知するための市P連だよりの発行などの活動に取り組まさせていただいております。

12月7日におきましては、県立大学池田校舎に場所をかえて淡路紀世子先生による子どもの心育てる講演会と、本会の活動によるパネル展示を行う全体研修会を開催する予定でございます。



峡南地区 大沢栄子(鵜沢小P)

当協議会は地区36校(小学校24校・中学校12校)で構成されています。

主な活動は、今年30回目の「アフリカ飢餓救援活動」全国で最も長く、毎年賛同者が増え活動の輪が広がっております。「富士川流域クリーン活動」、峡南5町それぞれで行われる「教育を語る会」、義務教育振興会議や地域教育フォーラムへの協力。タイムリーな課題を講演していただきとても勉強になります。さらに教育四者会の活動も密であり、昨年度は校長会が中心となり学校(児童生徒)の支援体制の構築がなされ要望活動が大きく前進いたしました。過疎化が著しく、学校適正配置による統廃合の問題など厳しい状況がありますが、児童生徒の明るい未来のため保護者・学校・地域の方々と一緒に活動を進めていきます。



峡東地区 雨宮俊彦(山梨小P)

山梨市PTA連絡協議会は、市内14の小中学校単位PTAが協力して相互の教養を高め、山梨市の教育振興を図ることを目的に活動しています。毎年11月には、子ども達の教育環境の整備・充実のため、各学校等からの要望事項をとりまとめて市に要望書を提出しています。子ども達は地域全体で育て守っていくものです。これからも、学校と保護者が地域の方々と一緒に活動を進めていきます。



北都留地区 湯山知英(大月東小P)

大月市PTA連合会は、大月市内11の小中学校PTAで組織されています。近年、学校適正配置に伴う学校統合が進んでおり、今年度末には10校になります。このような中で、子ども達の健全な成長を願い、安全な学校や地域をつくるのが私たちの使命です。これまで、心がふれあう地域の「あいさつ運動」や環境にやさしい「ペットボトルキャップ回収」を行ってきました。今後は防災安全や新たな学区構成における環境整備、教育要望に向けても取り組んでいきます。



南アルプス地区 早川純一(櫛形西小P)

南アルプス市連合PTAは、市内の小中学校のみで構成されており、保護者と教師、そして地域の方々が手を取り合って、子ども達の健全育成を推進しています。また、教育環境の充実や快適な学校生活を実現するため、各校の意見をまとめ、市に働きかけを行っており、これまでに多くの要望事項が実現しています。

今年度は、10月25日に学習会を開催し、ミュージカル講演を通して、親子のコミュニケーションや心の触れ合いを深めて欲しいと考えています。



韮崎地区 伊藤 光(韮崎北西小P)

韮崎市PTA連合会では、隔年での研修会開催と義務教育振興のための要望書を韮崎市へ毎年提出して、教育環境の整備を市に働きかけています。

昨年度2月に研修会として教育講演会を開き、講師に佐野有美氏を迎え、「あきらめない心」～マイナスをプラスにして努力する～と題して講演して頂きました。生まれつきハンディキャップのある方で、その内容に300人の会場が皆感動し勇気づけられました。

今年度は9月に義務振の要望書を韮崎市へ提出予定です。



南都留地区 池谷欣寿(道志中P)

南都留地区PTA連絡協議会は、富士吉田市P連、都留市P連、郡P連の3地域PTAの連帯を深める、また教育四者と連帯し、地域教育振興大会・県民大行動等に積極的に参加し、教育条件整備・公教育充実をめざすという方針のもと活動しています。今年6月地域教育連絡会では、富士山と北麓地域の、世界文化遺産を見据えた活動として、世界最高峰エベレストに女性最高齢(73歳)での登頂記録を持つ河口湖町在住の渡辺玉枝様を迎え「富士のふもとにぞぞち 暮らす」を題材にお話をいただきました。

また郡P連、河口湖P連、河口湖教育センター主催で、環境科学研究所所長 荒巻重雄所長を招き「火山としての富士山」その恵みと火山防災について教育講演会を実施しました、各地域・学校等で防災活動に携わる方々に多数参加いただきました、又 子ども達の参加の多さに驚かされました。今後ともPTA活動の中、防災は元より、かけがえのない子ども達の命・自然文化を損なわず次の世代へ遺す、そんな活動をしていきたいと考えています。

みえ大会に参加してきました。

第61回日本PTA全国研究大会 みえ大会 8月23日(金)～24日(土)

第61回日本PTA全国研究大会が23日～24日、三重県で開催され、全国から8千人の代表が集まりました。山梨県PTA協議会の代表団は13名。「子どもたちのために」を合言葉に、熱意を持って取り組んでいる全国の方々にふれることができ、大変感激いたしました。

1日目は11分科会に分かれ、各テーマで基調講演と実践報告が行われました。私は、小林奈都夫会長(山梨県P会長・日P理事)が運営委員長をつとめた「地域連携」の分科会に参加しました。校区合同関係者会議で



避難所訓練を実施した地元中学校PTA、児童数の減少がすすむ小学校で地域のお祭りを復活させた地元小学校PTAから実践発

表がありました。この地区のPTA役員はあて職が多く大変そうでしたが、その中で地域の方々を知り、また楽しさを体験する。子どもたちも地域の人たちと知り合いになる姿がよくわかりました。会場を巻き込んだパネルディスカッションも印象的でした。元NHK村上信夫アナウンサーがコーディネーターでしたが、レベルの高い話し合いに時を忘れました。

2日目はメインアリーナでの全体会。文部科学大臣の来賓あいさつ等の開会式の後、ヴァイオリニスト・作曲家の川井郁子さんが1時間、演奏とお話をされました。澄んだ音色と温かいメッセージに「心のこもった大会」との思いが自然にこみ上げてきました。大会運営をふくめ、あっぱれでした。

藤本 実 (大月市・鳥沢小P)



親子安全会・扶助会だより



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会

会長 梶 謙 一

親子安全会・扶助会では、地域の宝である子供たちの健やかな成長を支えるために、子供たちや会員の不慮の事故に対する見舞金や厚生援助金の給付、健康安全活動や福祉増進の取り組みに対しての助成など、PTAを側面からサポートする取り組みを行っています。

給付申請の詳細については各学校より配布される「山梨県PTA親子安全会の手引」をご参照下さい。

本紙に平成24年度に発生した事故や怪我等の状況別の件数を掲載しております。(昨年度は1,806件の申請があり、総額25,625,450円の見舞金と、6,000,000円の厚生援助金の支払いを行っています。)

見舞金等の給付にあたっては年間9回行われる審査運営委員会で、各郡市代表の校長先生をはじめとする16名の認定委員と医師1名、事務局2名が公平・公正な給付の徹底を図るよう努めています。

不慮の事故は起きてからの救済も大切ですが、事故や傷害に遭わないように下記の事例を参考にしてください、皆で安全意識を高めていきましょう。

今後とも皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

平成24年度親子安全会・扶助会報告

原因別件数(全1,806件中上位10項目)

けがの原因	件数
1 球技によるけが	505
2 遊んでいてのけが	363
3 自転車によるけが	164
4 転倒によるけが	156
5 交通事故	108
6 病気死亡	49
7 格技によるけが	44
8 転落によるけが	44
9 ドア、ガラス等によるけが	43
10 遊具によるけが	41
10項目合計	1,517

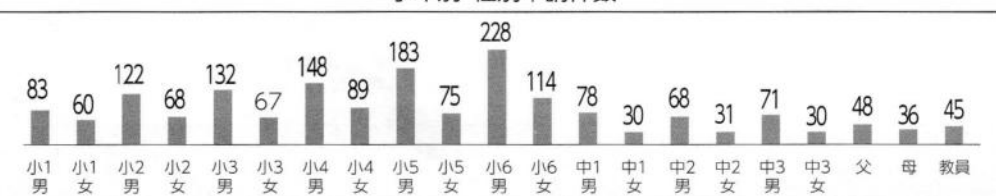
種類別件数
(全1,806件中上位10項目)

けがの類別	件数
1 骨折	775
2 捻挫	331
3 挫創	156
4 打撲	92
5 損傷	68
6 挫傷	58
7 切創	51
8 病気死亡	49
9 熱傷	33
10 断裂	26
10項目合計	1,639

郡市別申請件数・見舞金額

郡市	件数	金額
甲府	292	4,492,730
中巨摩	412	5,911,450
甲州	100	1,443,330
山梨	98	1,429,080
笛吹	129	2,146,600
峡南	192	2,126,470
韮崎	69	800,040
北杜	99	1,004,140
吉田	109	1,677,390
都留	50	782,960
南都留	163	2,760,940
大月	34	215,890
北都留	59	834,430
合計	1,806	25,625,450

学年別・性別申請件数



※平成24年度は60名の保護者の方がお亡くなりになり、扶助会から総額6,000,000円が支払われました。

教育相談事業 教育四者(PTA・校長会・教頭会・教育会)による教育相談室

相談会場等案内

相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	第2・4水	雨宮 正文
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438	055-265-2117	随 時	塚越 武文
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町鍼沢795-4	0556-22-1500	第1・3水	尾崎 源武
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	毎週金曜	辻 高廣
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	第1・3月	上野 幸治
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随 時	希代 修
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	第1・3月	天野 文義
全 県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-33-7	055-228-1342	随 時	早川 憲三 武井 文雄

教育四団体は、PTAが事務局となり教育相談室を開いています。退職教員が県教育委員会からも任命されています。

子育てに関わる悩みや心配事等気軽にご活用ください。

平成24年度教育相談者数(全県)

① 相談対象件数 * ()は電話相談 内数

小学生	中学生	幼児	高校生	一般	合計
32(18)	21(6)	2(2)	12(3)	4(2)	71(31)

② 延べ相談者数 * ()は電話相談 内数

本人	父親	母親	祖父母	教師	合計
4	11(2)	49(23)	5(2)	7(4)	76(31)

今年の猛暑は全国ニュースでも取り上げられるほど厳しく大変でした。

地球環境同様、子供を取り巻く環境も大きく変化しています。

県P情報を通じて、PTAの取り組み、各郡市Pや委員会の活動状況等を広く発信していきます。多くの皆様に県Pの活動を知ってもらいと共に、情報等参考にして頂けたらと思います。

発行に当たりましては、多くの皆様のご協力ありがとうございました。

情報委員長 雨宮 眞司